

学生デザインコンペティション 2025

募集要項

テーマ：地域特性を活かした空き家の利活用

1. 課題概要

総務省の調査によれば、2023年の日本の総住宅数は6,502万戸で、2018年に比べて261万戸(4.2%)増加し、その内、空き家数は900万戸(13.8%)で、2018年に比べて51万戸(0.2%)増加しています。鳥取県においても2023年の住宅の空き家率は15.8%となり、2018年より0.3%増加しており全国平均を上回っている状況です。このように、増加し続ける空き家の利活用に関して多くの自治体では、補助事業を推進し、空き家バンク等を展開するものの自治体の人員不足もあり、あまり効果的に運用されていません。また、事業を廃止した後、利活用が決まらずそのままとなっている施設や解体される建物も多くあります。

その中で今回、県指定文化財施設であり、現在住宅部分が改装中である小川家の利用の決まっていない一部建物を提供していただけることとなり、第9回目となる「学生デザインコンペティション2025」において、『小川家住宅の旧仕込蔵を題材とした空き施設の利活用』を計画することを求めます。

2. 設計条件

2-1 対象物件

(1) 小川家住宅旧仕込蔵

〒689-0924 鳥取県倉吉市河原町1969番地

JR倉吉駅からバス(高城線大立行き)約16分(河原町 2本/日)

(2) 木造平屋建て 延床面積 347㎡

(3) 大正後期の建築で、一部土蔵造の中央に腰屋根を設けた切り妻造の赤色棧瓦葺き。槽場(ふなば)南面はレンガ壁とし、水車跡がとりつく。

2-2 計画範囲

(1) 旧仕込蔵(槽場共)及び鉢屋川・市道を挟んだ南側空き地(配置図図示)

(2) 小川家住宅は宿泊施設に改装中であるが、それに拘らず自由に利活用案を計画すること

(3) ただし、県指定文化財である旧仕込蔵・槽場の屋根及び外壁(平面図図示部分)は現状維持とする(改変不可)

(4) 空き地内に現存している倉庫は解体予定なので更地として計画する

空き地については建物の利用目的にそぐわなければ計画に含めなくてもよい

3. 競技方法

デザインコンペティションは、予選と本選に分けて実施します。

但し、主催者が、応募作品が少ないと判断した場合は、予選と本選に分けて審査は行わず、審査委員によるプレゼンテーションポスターに基づく審査のみとします。

3-1 予選

- (1) 予選は、審査委員によるプレゼンテーションポスターに基づく審査の結果、本選に出場する7点程度を選出します。
- (2) 審査結果は、(一社)鳥取県建築士会のホームページに掲載するほか、応募されたチームが在学する担当教員宛にE-mailにより連絡をします。

3-2 本選

- (1) 本選は、プレゼンテーションポスター及びパワーポイントやCG、模型やアニメーション等による公開審査とし、審査委員により入賞作品を選出します。
- (2) 発表時間は、1チームあたり発表7分、質疑応答3分程度としますので、分かりやすく説明してください。

4. 応募方法

4-1 予選

- (1) プレゼンテーションポスターA1版パネルデータ(PDF形式:10MB以下)を1枚(横向き)をE-mailで送付して下さい。
- (2) プレゼンテーションポスターの内容は、設計趣旨、配置図(方位、前面道路、周辺の状況などを記入)、平面図、立面図、断面図、透視図(CG、模型写真含む)等を適宜選択し、表現してください。
- (3) 表面に応募者の氏名・所属がわかるものの記入は認めません。
- (4) フリー素材の引用時は利用規約を必ず、確認してください。
- (5) プレゼンテーションポスターと併せ所定の「エントリーシート」もE-mailで送付して下さい。
- (6) 提出期限：2025年10月9日(木)~10月15日(水) 16:00 必着

4-2 本選

- (1) 本選の詳細に関しては、10月下旬に予選通過チームの在学する担当教員宛に、E-mailにより通知するとともに、(一社)鳥取県建築士会のホームページで公開します。(予選結果は、予選翌日に担当教員にメールします。)
- (2) 本選に出場する者は、プレゼンテーション用のデータ(パワーポイントやCG等)をE-mailで送付して下さい。
- (3) 提出期限：2025年11月14日(金) 16:00 必着

4-3 提出方法、提出先

- (1) 提出方法：E-mail
- (2) 提出先：gdc.tottori@gmail.com
(一社)鳥取県建築士会
青年・女性合同委員会「学生デザインコンペティション 2025」担当 宛
メールの件名に「**学生デザインコンペティション 2025 応募**」と明記してください。
- (3) 受領確認は、E-mailにより返信をします。

5. 応募資格

- (1) 鳥取県内の高等学校並びに高等教育機関等の建築系あるいは住居系の学科に在籍している方とします。
- (2) チームは1～4名以内で構成してください。
- (3) 同一人物が複数のチームに参加することは認めません。
- (4) 予選でエントリーしたメンバーの本選での変更は認めません。

6. 審査員及び審査方法

6-1 審査員

| | | |
|-----|--------|---------------------|
| 委員長 | 長谷川 義明 | (公社)鳥取県宅地建物取引業協会 会長 |
| 委員 | 老田 智美 | 公立鳥取環境大学環境学部 准教授 |
| 委員 | 松山 久 | (一社)鳥取県建築士会 会長 |

6-2 審査方法

予選・本選とも審査は、審査員の協議によります。

7. 質疑応答

- (1) 質疑に関しては、E-mailのみで受け付けます。
- (2) 課題内容や設計条件に関する質疑には、一部答えられないものもあります。
- (3) 宛先「学生デザインコンペティション 2025」

E-mail：gdc.tottori@gmail.com

8. 表彰

- (1) 予選を通過した作品は入選とします。
- (2) 入選者の中より本選にて、最優秀賞：1点、優秀賞：2点、特別賞を選出します。

9. 付記

- (1) 予選に提出された応募図面は原則的に公開を予定しています。
- (2) 応募作品は他のコンテスト、コンペティションに応募していないものとします。
- (3) 応募要項に違反した場合は、失格になる場合があります。
- (4) 提出作品の著作権は制作者に属しますが、主催者はこれを書籍等の印刷物（応募者氏名・学校名含む）への掲載またはWE B等で公開する権利を有し、これを妨げないものとします。
- (5) **対象空き家物件のデータ資料は、公表されていない資料もあるため、各校の担当教員宛に DVD-R に保存したものを送付します。作品提出の際に DVD-R は返却して下さい。**
- (6) 対象物件は住宅部分工事中のため、担当者（建築士会）の立会が必要です。
見学可能日時：5月31日（土）、6月1日（日） 13：30～15：30
また、上記で調整が困難な場合、平日、休日において現場担当の日程調整がつけば現地確認は可能です。希望日時を希望日一週間前までにお知らせください。
連絡先 E-mail：gdc.tottori@gmail.com

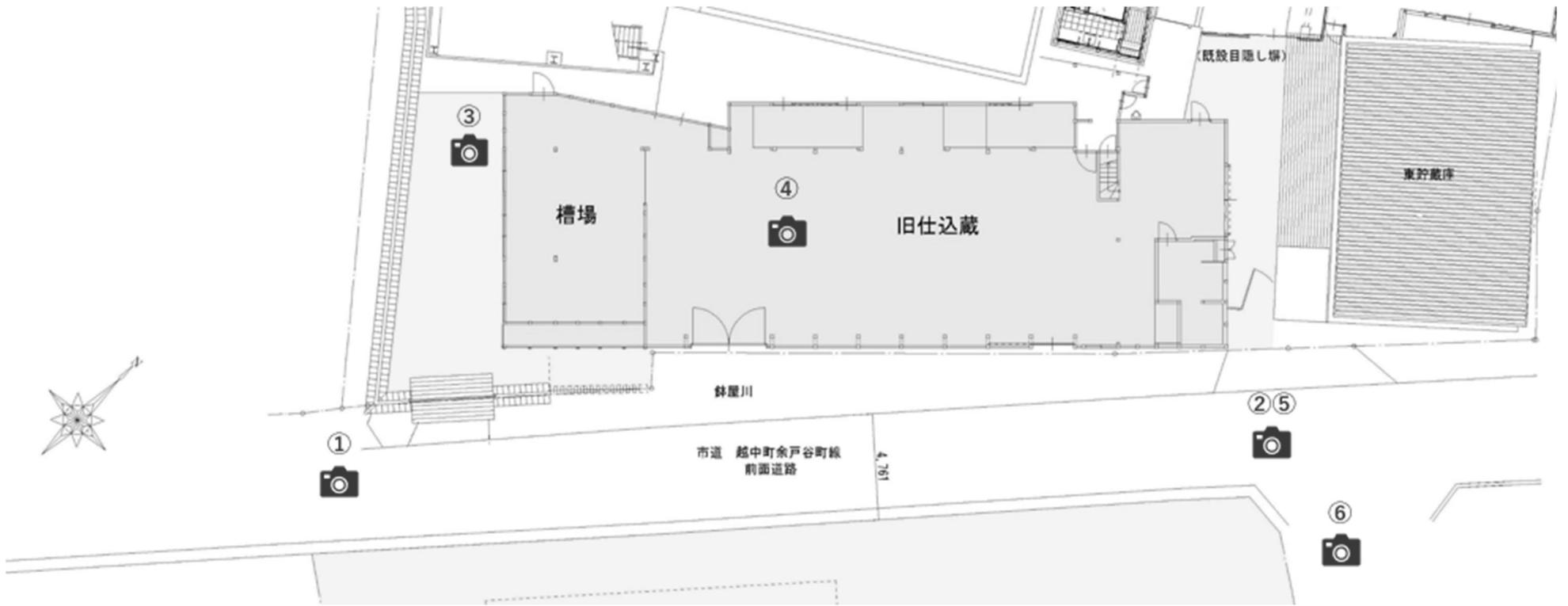
日程

2025年

| | |
|-----------|--------------------|
| 5月12日（月） | 募集要項の公開 |
| 5月19日（月） | 質疑の受付開始 |
| 6月7日（土） | 質疑の受付終了 |
| 10月9日（木） | 予選作品の受付開始 |
| 10月15日（水） | 予選作品の受付締切 |
| 10月26日（日） | 予選審査実施・予選結果発表 |
| 11月14日（金） | 本選審査発表のデータ受付締切 |
| 11月16日（日） | 本選審査及び公開報告会・本選結果発表 |

主催 （一社）鳥取県建築士会 青年・女性合同委員会
協力 （一社）日本建築学会
鳥取県
（株）建築資料研究社 日建学院

現況写真位置



①



②



③



④



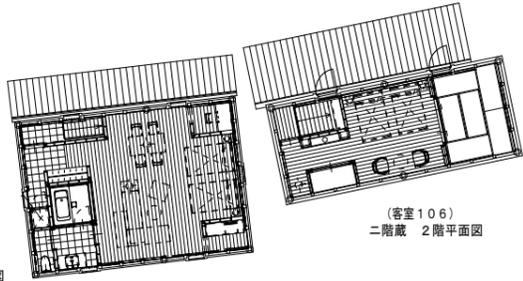
⑤



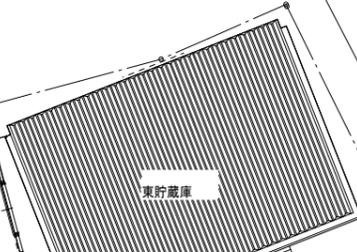
⑥



2階 (客室105)
三階蔵 2階平面図



(客室106)
二階蔵 2階平面図



宿泊者用駐車場

4.921

前面道路
市道 緑治町1丁目八幡町線

新座敷

清和軒

道具蔵

中央貯蔵庫

旧仕込蔵

4.761

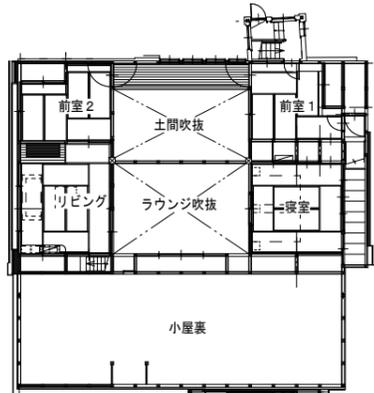
前面道路
市道 越中町余戸谷町線

鉢屋川

解体予定建物

環翠園
駐車場

(客室101)



主屋・新座敷 2階平面図

(客室103)

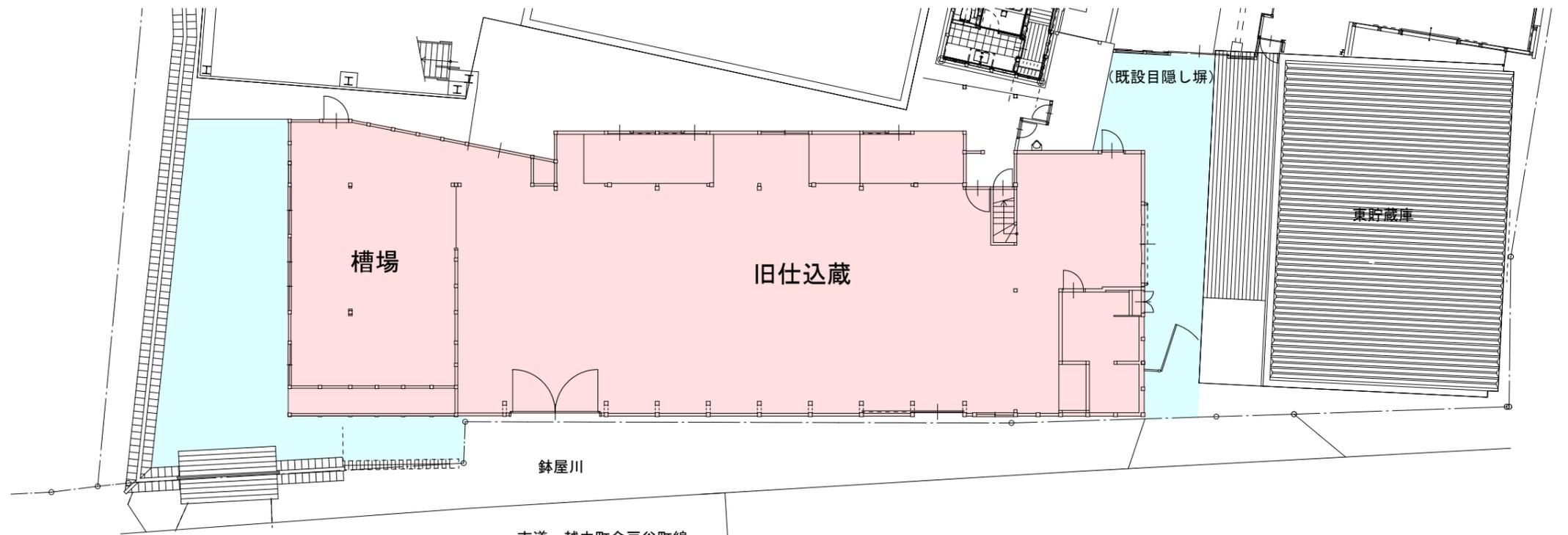
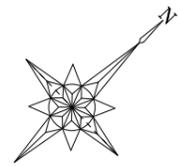


敷地平面・配置図 S-1/300

改修建物

計画範囲





市道 越中町余戸谷町線
前面道路

4.761

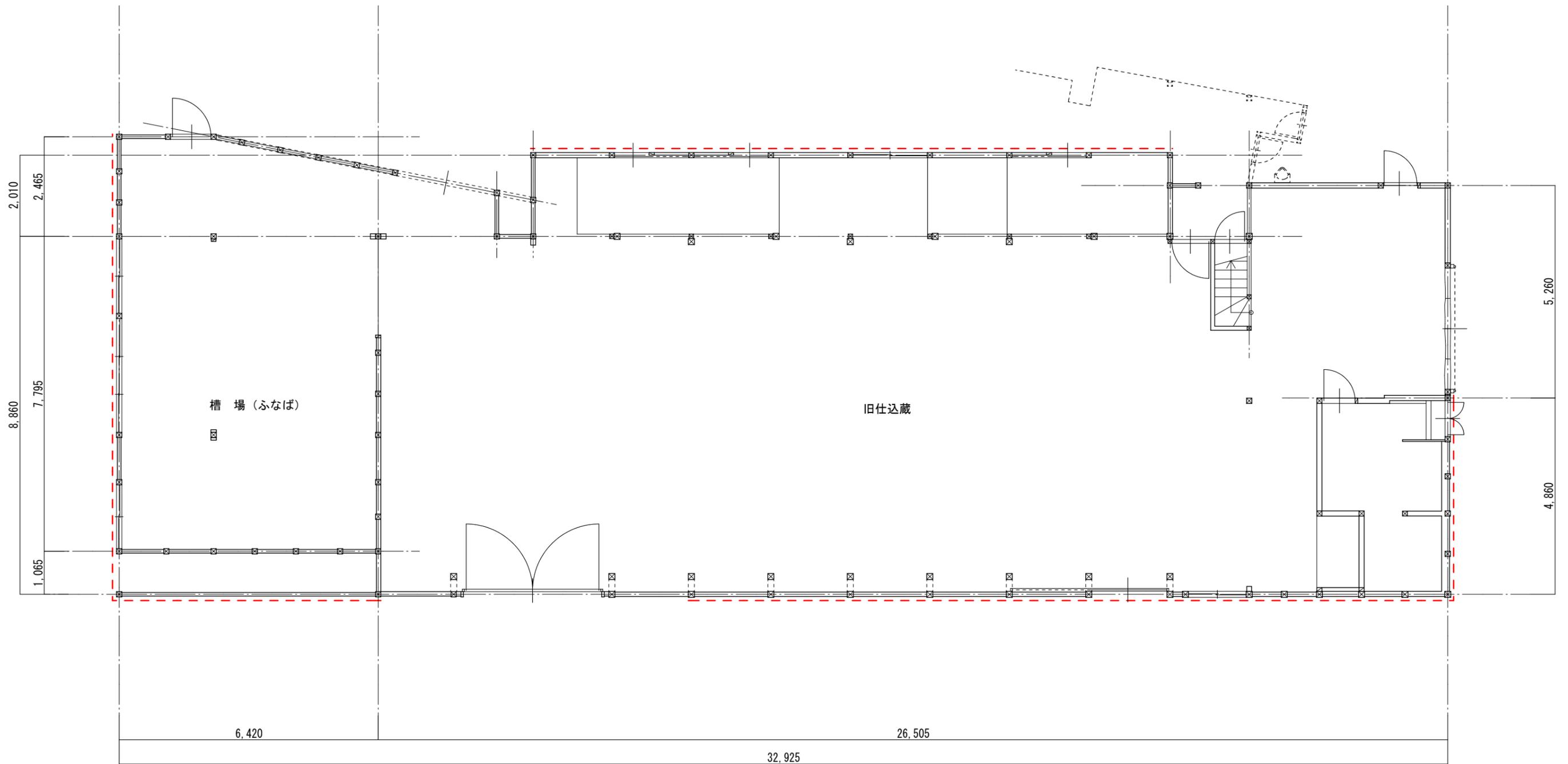
環翠園
駐車場

解体予定建物

解体予定建物

：改修建物

：計画範囲



--- : 外観変更不可部分
(建設当時のものが残っているため)

旧仕込蔵 平面図 S-1/100

旧仕込蔵
 住所 倉吉市河原町
 木造平屋建 347㎡
 大正後期の建築で、一部土蔵造の中央に腰屋根を設けた切妻造の赤色棧瓦葺き。
 西側の槽場（ふなば）と、東側の旧仕込蔵からなる。
 槽場南面はレンガ壁とし、水車跡がとりつく。

